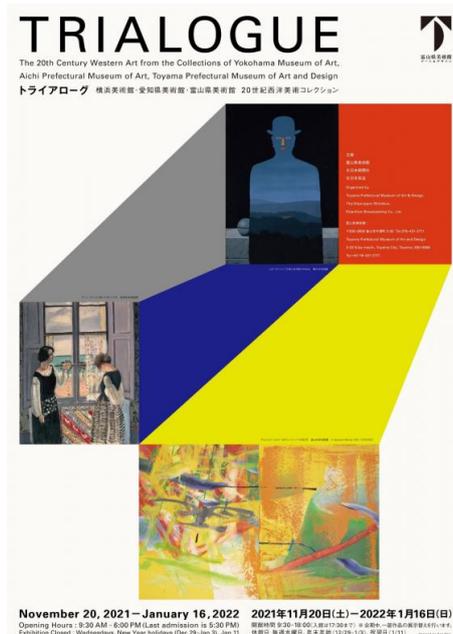


令和3年9月24日

## 富山県美術館 「トライアローグ 横浜美術館・愛知県美術館・富山県美術館 20世紀西洋美術コレクション」開催および一般前売券販売のご案内

富山県美術館では、2021年11月20日（土曜日）～2022年1月16日（日曜日）の間、企画展「トライアローグ 横浜美術館・愛知県美術館・富山県美術館 20世紀西洋美術コレクション」を開催します。一般前売券は、9月27日（月曜日）から販売します。



20世紀美術を収集の柱のひとつとし、国内の各地方を代表する公立美術館である横浜美術館、愛知県美術館、富山県美術館の3館の「トライアローグ」（3者による話し合い・鼎談）により、それぞれのコレクションを組み合わせ、20世紀西洋美術の歴史を振り返る展覧会です。

ピカソ、クレー、ミロ、エルンスト、ダリ、マグリット、ポロック、ベーコン、リヒターなど、20世紀西洋美術史を彩った巨匠たちの作品を厳選し、絵画を中心に約120点をご紹介します。3館のコレクションが語らうように織りなす、充実の展示をご堪能ください。

### 開催概要

### 展覧会名

トライアローグ 横浜美術館・愛知県美術館・富山県美術館 20世紀西洋美術コレクション

### 会期

2021年11月20日（土曜日）～2022年1月16日（日曜日）

## 休館日

---

毎週水曜日、年末年始（12/29-1/3）、祝翌日（1月11日）

## 開館時間

---

9時30分～18時00分（入館は17時30分まで）

## 会場

---

富山県美術館 2階展示室2、3、4

## 観覧料

---

前売り一般：700円、当日一般：900円（700円）、大学生：450円（300円）

（※）高校生以下無料

（※）（ ）内は20名以上の団体料金

（※）一般前売券の販売は、9月27日（月曜日）～11月19日（金曜日）

## 前売券販売所

富山県美術館、富山県水墨美術館、アーツナビ

## 主催

---

富山県美術館、北日本新聞社、北日本放送

## 本展の見どころ

---

### 3館イチオシ！珠玉のコレクションでたどる20世紀西洋美術

---

1980-90年代の開館以来、20世紀の西洋美術の充実したコレクションを築いてきた3館のイチオシ作品が大集結。30年区切りの全3章で20世紀美術の流れをたどりながら、3館が誇る名品の数々をお楽しみください。

#### 第1章：1900s- アートの地殻変動

第1章では、20世紀初頭にヨーロッパを中心に起こった、まさに「地殻変動」と言うべきさまざまな美術の動向とその作品を取り上げます。

1900年代から30年代にかけて登場した動向として、20世紀初頭のキュビズム、フォーヴィスム、表現主義に始まり、1910年代前半にヨーロッパ各地で誕生した抽象絵画、第一次世界大戦前後の構成主義やダダなどが挙げられます。

本章では、まさに20世紀を代表する作家であるピカソをはじめ、各館が所蔵する重要なアヴァンギャルド（＝前衛）の芸術家の作品をご紹介します。

【主な出品作家】：エドヴァルド・ムンク、パブロ・ピカソ、ジョルジュ・ブラック、フェルナン・レジェ、マルセル・デュシャン、コンスタンティン・ブランクーシ、アンリ・マティス、マルク・シャガール、アメデオ・モディリアーニ、ヴァシリイ・カンディンスキー、パウル・クレー、ハンス（ジャン）・アルプ など

## 第2章 1930s—アートの磁場転換

第2章では、第二次世界大戦をはさみ、アートの中心地がヨーロッパからアメリカへと移動していく約30年の動向を紹介します。

両大戦間には、夢や無意識の世界を通して、理性や固定概念から現実を解き放とうとする傾向である、シュルレアリスムが国際的な運動へと発展します。その後、第二次世界大戦の時期、多くの芸術家がヨーロッパからアメリカへと亡命したことをきっかけに、抽象表現主義をはじめとする新しい動向がニューヨークで巻き起こりました。

本章では、エルンストやミロ、デルヴォーなど、3館ともに所蔵するシュルレアリスムの作家の重要作品が一堂に会します。また、アメリカを中心に制作された、スケールの大きな絵画作品の数々もご覧いただけます。

【主な出品作家】：マックス・エルンスト、ジュアン・ミロ、サルバドール・ダリ、ルネ・マグリット、ポール・デルヴォー、バルテュス、アルベルト・ジャコメッティ、ジョゼフ・コーネル、アレクサンダー・カルダー、ジャクソン・ポロック、サム・フランシス、ルーチョ・フォンタナ、ジャン・デュビュッフェなど

## 第3章 1930s—アートの多元化

第3章では、第二次世界大戦後から20世紀末にかけて、アートの手法や考え方が多様化し、いくつかの流派や傾向ではとらえきれない時代へと至る、世紀後半の芸術動向を取り上げます。

第二次世界大戦後のアメリカでは、大量生産・大量消費社会やマスメディアの隆盛を背景に、身の回りの日用品や、雑誌・映画等のイメージを作品に取り入れたポップアートがアートシーンを席卷します。一方で、最小限まで表現要素をそぎ落としたミニマルアートも生まれます。その後、アイデアや制作プロセスを重視するコンセプチュアルアートなど、「コト」を中心とする芸術が登場し、表現媒体や作品形式も多様化していきます。

本章には、3館が作品収集を開始した1970-90年代の作品も含まれます。同時代の作品として、価値の定まらない中で収集が進められた作品の数々は、今日ではその多くが国際的に高い評価を得ています。

【主な出品作家】：イヴ・クライン、フランシス・ベーコン、フランク・ステラ、ジャスパー・ジョーンズ、ロバート・ラウシェンバーグ、ジム・ダイン、ロイ・リキテンスタイン、アンディ・ウォーホル、クリスチャン・ボルタンスキー、クリスト&ジャンヌ＝クロード、ゲルハルト・リヒター、ジョゼフ・コスース

### 3館ともに所蔵するアーティストの作品にフォーカス！

3館のクレアが、ミロが、デルヴォーが、ウォーホルが勢揃い！3館共通で所蔵するアーティストの作品に焦点を当てる「Artist in Focus」など、3館共同企画ならではの視点で作品の魅力をお伝えします。

※会期中、一部作品の展示替えを行います。

### 鑑賞サポートアプリの提供について

本企画展では、野村総合研究所の協力のもと、作品と向き合いながら鑑賞体験を深めるためのアプリを提供します。

出品作品の中から厳選した9つの作品を巡り、「案内人・山高帽の男」から投げかけられる質問について考え、自分なりの答えを見つけていただきながら、鑑賞いただけるアプリです。また、さらに詳しく作品を知りたい方のために、大人向け、子ども向けそれぞれの解説もご用意。ご自身のスマートフォンやタブレットで、QRコードを読み取ることで、ダウンロード不要でお楽しみいただけます。

・ 鑑賞ツール特別提供協力 株式会社野村総合研究所



## 会期中のイベントについて

会期中のイベントの詳細は、当館ホームページや SNS 等でお知らせします。

## お客様へのお願い

ご来館の皆様には、マスクの着用／適切な距離の確保／咳エチケット／風邪症状がある場合のご来館自粛など、新型コロナウイルス感染症防止にご協力いただけますようお願い申し上げます。

土日祝の混雑時には、入場制限を行う場合がございます。

## ご取材・掲載用写真について

広報用画像および取材申請については、下記申込書にご記入の上、ご送付をお願いいたします。

広報用画像・取材申込書（PDF：810KB）（別ウィンドウで開きます）

**MAKE  
TOYAMA  
STYLE**  
BEYOND CORONA, WITH US



トライアローグ 横浜美術館・愛知県美術館・富山県美術館 20世紀西洋美術コレクション展  
広報用画像

<p>①</p> 	<p>②</p> 	<p>③</p> 
<p>ジャクソン・ポロック 《無題》1946年 富山県美術館蔵</p>	<p>ルネ・マグリット 《王様の美術館》1966年 横浜美術館蔵</p>	<p>アンリ・マティス 《待つ》1921-22年 愛知県美術館蔵 ※新聞・雑誌のみ</p>
<p>④</p> 	<p>⑤</p> 	<p>⑥</p> 
<p>コンスタンティン・ブランクーシ 《空間の鳥》 1926年(1982年 鋳造) 横浜美術館蔵</p>	<p>パウル・クレー 《女の館》1921年 愛知県美術館蔵</p>	<p>モーリス・ルイス 《ダレット・シン》1958年 富山県美術館蔵</p>
<p>⑦</p> 	<p>⑧</p> 	<p>⑨</p> 
<p>フェルナン・レジェ 《コンポジション》1931年 横浜美術館蔵</p>	<p>アルベルト・ジャコメッティ 《裸婦立像》 1950年頃 富山県美術館蔵</p>	<p>イヴ・クライン 《肖像レリーフ アルマン》1962 年原型制作 愛知県美術館蔵</p>
<p>⑩</p>  <p>富山県美術館蔵</p> <p>トライアローグ展ポスター</p>		

お問い合わせ 富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20  
tel: 076-431-2711 fax: 076-431-2712  
メール: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp  
担当: 広報に関して: 川浦  
展覧会に関して: 碓井、遠藤、内藤

MAKE  
TOYAMA  
STYLE  
BEYOND CORONA, WITH US



トライアローグ展  
広報用画像・取材申込書

FAX 076-431-2712 /E-mail: [abijutsukan@pref.toyama.lg.jp](mailto:abijutsukan@pref.toyama.lg.jp)

■裏面の記載の注意事項をお読みいただき、以下の必要事項をご記入の上、お送りください。

申込日			
貴媒体名			
(WEBの場合のURL)			
貴社名／部署			
ご担当者氏名			E-mail:
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL:	FAX:	
掲載／放送予定日	年 月 日	掲載号発売日:	年 月 日
取材希望日 <small>※取材希望の場合</small>	日時	撮影 希望あり・希望なし <small>※ご希望にそえない場合があります。</small>	
記事・企画内容			

※ご記入いただいた個人情報は、広報用写真貸出しの目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

■掲載ご希望の画像(□にチェックを入れてください)

広報用画像一覧・掲載時のキャプション			
<input type="checkbox"/>	①ジャクソン・ポロック《無題》1946年 富山県美術館蔵	<input type="checkbox"/>	②ルネ・マグリット《王様の美術館》1966年 横浜美術館蔵
<input type="checkbox"/>	③アンリ・マティス《待つ》1921-22年 愛知県美術館蔵 <small>※新聞・雑誌のみ</small>	<input type="checkbox"/>	④コンスタンティン・ブランクーシ《空間の鳥》1926年(1982 铸造) 横浜美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑤パウル・クレー《女の館》1921年 愛知県美術館蔵	<input type="checkbox"/>	⑥モーリス・ルイス《ダレット・シン》1958年 富山県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑦フェルナン・レジェ《コンポジション》1931年 横浜美術館蔵	<input type="checkbox"/>	⑧アルベルト・ジャコメッティ《裸婦立像》1950年頃 富山県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑨イヴ・クライン《肖像レリーフ アルマン》1962年 原型制作 愛知県美術館蔵	<input type="checkbox"/>	⑩トライアローグ展ポスター

お問い合わせ 富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20  
tel: 076-431-2711 fax: 076-431-2712  
メール: [abijutsukan@pref.toyama.lg.jp](mailto:abijutsukan@pref.toyama.lg.jp)  
担当: 広報に関して: 川浦  
展覧会に関して: 碓井、遠藤、内藤

MAKE  
TOYAMA  
STYLE  
BEYOND CORONA, WITH US



## 富山県美術館 広報用画像について

- ◎ 本広報用画像の使用は、出版・放送（番組）・WEB等、富山県美術館および展覧会の広報を目的とした報道に限らせていただきます。展覧会の広報にあたっては、展覧会名、会期、会場を必ずご掲載ください。
- ◎ 画像は「広報用画像申込書」に掲載または放送内容を具体的に記載の上、ご申請ください。富山県美術館より画像データをお送りいたします。**提供した画像データは、使用后すみやかに破棄してください。**
- ◎ 画像使用の際は、「広報用画像申込書」をご参照の上、所定のキャプションとクレジットを表記してください。
- ◎ 画像はトリミング（切り取り）はせず、全図で使用してください。作品が切れたりキャプション等の文字や他の画像がかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ◎ WEBにてご掲載の場合には、コピーガード（※右クリック不可）を施すなど、可能な限りご対応をお願いします。
- ◎ ロゴマーク・ロゴタイプに他のデザイン要素を重ねたり、横切らせたり、余白を削除したりすることはしないでください。
- ◎ 申請をいただいた媒体以外の企画（例：出版物表紙、広告素材使用は不可）での二次使用はできません。**再掲載・再放送などを希望される場合は、別途申請が必要です。**
- ◎ 基本情報と画像使用の確認のため、校正をメールで富山県美術館広報担当までお送りくださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載および放映いただいた場合、お手数ですが掲載紙・誌、URL、番組収録のDVD、CDなどを富山県美術館へのご提供をお願いいたします。

お問い合わせ 富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町3 - 20  
tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712  
メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp  
担当 : 広報に関して : 川浦  
展覧会に関して : 碓井、遠藤、内藤

MAKE  
TOYAMA  
STYLE  
BEYOND CORONA.WITH US

